

平成26年10月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年8月29日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 キタック

コード番号 4707 URL <http://www.kitac.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 中山 輝也

問合せ先責任者 (役職名) 経理部次長

(氏名) 井村 弘章

TEL 025-281-1111

四半期報告書提出予定日 平成26年9月2日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年10月期第3四半期の業績(平成25年10月21日～平成26年7月20日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年10月期第3四半期	1,901	24.0	281	186.5	254	285.9	151	361.1
25年10月期第3四半期	1,533	△1.6	98	△49.7	65	△58.0	32	△59.6

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年10月期第3四半期	27.00	—
25年10月期第3四半期	5.86	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭
26年10月期第3四半期	5,126		1,963		38.3	350.54
25年10月期	5,224		1,837		35.2	328.06

(参考)自己資本 26年10月期第3四半期 1,963百万円 25年10月期 1,837百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年10月期	—	0.00	—	5.00	5.00
26年10月期	—	0.00	—	—	—
26年10月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年10月期の業績予想(平成25年10月21日～平成26年10月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,468	11.2	231	20.9	180	15.4	110	71.9	19.60

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年10月期3Q	5,969,024 株	25年10月期	5,969,024 株
② 期末自己株式数	26年10月期3Q	368,527 株	25年10月期	368,435 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年10月期3Q	5,600,543 株	25年10月期3Q	5,600,589 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第3四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

①業績の概況

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、政府主導による経済対策や日銀の金融緩和政策などを背景にして、輸出産業を中心に企業収益が改善するなど景気は緩やかながら回復基調で推移したものの、一方では、個人消費については消費税増税に伴う駆け込み需要に対する反動減や新興国経済の下振れ懸念などもあり、先行き不透明な状況で推移しました。

その中で当社の属する建設コンサルタント業界の市場環境におきましては、国の公共事業については、政府の経済対策による予算執行の前倒しおよび「国土強靱化計画」に基づく防災・減災対策や老朽化対策などのインフラ整備事業などが堅調に推移したものの、一方では地方公共団体の公共事業については、新規事業の予算縮減が継続されているため、引き続き厳しい受注環境となりました。

こうした状況の中、当社としては、他社との差別化を目指して、培ったノウハウを活用し顧客のニーズに合った技術提案の強化を経営の最重要課題のひとつとして位置付けて、きめ細かな営業活動を展開し全社を挙げて受注確保に取り組んだ結果、当第3四半期累計期間の受注高は17億7千9百万円(前年同四半期比9.8%増)となりました。

収益面につきましては、後述のとおり売上高の季節的変動要因はありますが、第2四半期での完成高が16億8千6百万円と当初計画より上振れしたこともあり、売上高19億1百万円(同24.0%増)、営業利益2億8千1百万円(同186.5%増)、経常利益2億5千4百万円(同285.9%増)、四半期純利益1億5千1百万円(同361.1%増)となりました。

なお、セグメント別の業績は以下のとおりであります。

(建設コンサルタント事業)

建設コンサルタント事業の当第3四半期累計期間の業績は、前述のとおり、第2四半期の業績が当初計画より上振れしたこともあり、完成業務収入17億7千4百万円(前年同四半期比25.9%増)、売上総利益6億1千7百万円(同44.6%増)となりました。

(不動産賃貸等事業)

不動産賃貸等事業の当第3四半期累計期間の業績は、入居率の上昇及び諸経費削減などにより、不動産賃貸等収入1億2千7百万円(前年同四半期比2.6%増)、売上総利益3千2百万円(同15.0%増)となりました。

②売上高の季節的変動について

当社の主要事業である建設コンサルタント事業は、主要顧客先が国・地方自治体であることから、公共事業の工期が事業年度末である3月および9月に集中する傾向にあるため、当社の売上高の計上時期が第2四半期会計期間と第4四半期会計期間に偏る傾向が高い反面、販売費及び一般管理費は各四半期毎に概ね均等に発生するという季節的変動要因があります。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の分析

(資産)

資産合計は、51億2千6百万円(前事業年度末比9千7百万円減)となりました。

主な増減内訳は、現金及び預金(同6千7百万円増)、受取手形及び完成業務未収入金(同2億6千1百万円減)、投資その他の資産(同1億2千4百万円増)等であります。

(負債)

負債合計は、31億6千3百万円(前事業年度末比2億2千3百万円減)となりました。

主な増減内訳は、業務未払金(同6千2百万円減)、短期借入金(同3億7千万円減)、未成業務受入金(同1億円増)等であります。

(純資産)

純資産合計は、19億6千3百万円(前事業年度末比1億2千5百万円増)となりました。

主な増減内訳は、利益剰余金(同1億2千3百万円増)等であります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、平成26年5月23日に公表しました「業績予想の修正に関するお知らせ」に記載の通り、現時点においては平成25年12月9日に公表した業績予想から変更はありません。

なお、本資料に記載されている業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後、様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表
(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年10月20日)	当第3四半期会計期間 (平成26年7月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	78,861	146,048
受取手形及び完成業務未収入金	370,802	109,319
未成業務支出金	318,168	336,319
貯蔵品	3,789	4,413
繰延税金資産	22,895	15,140
その他	16,505	13,087
貸倒引当金	△908	△279
流動資産合計	810,114	624,050
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	321,802	307,131
工具、器具及び備品(純額)	450,990	455,377
賃貸資産(純額)	1,074,970	1,053,711
土地	2,354,153	2,354,153
その他(純額)	32,033	29,708
有形固定資産合計	4,233,950	4,200,083
無形固定資産	14,130	11,945
投資その他の資産		
投資有価証券	127,955	256,717
繰延税金資産	14,893	13,791
その他	23,302	19,820
貸倒引当金	△9	△4
投資その他の資産合計	166,143	290,324
固定資産合計	4,414,224	4,502,353
資産合計	5,224,338	5,126,404
負債の部		
流動負債		
業務未払金	133,364	70,938
短期借入金	740,000	370,000
1年内返済予定の長期借入金	254,388	265,836
未払法人税等	30,021	65,846
未成業務受入金	134,482	235,452
賞与引当金	37,735	18,849
業務損失引当金	1,964	965
その他	160,808	148,943
流動負債合計	1,492,766	1,176,831
固定負債		
社債	350,000	450,000
長期借入金	1,277,716	1,263,808
退職給付引当金	51,010	48,433
役員退職慰労引当金	184,411	190,259
その他	31,088	33,868
固定負債合計	1,894,226	1,986,370
負債合計	3,386,992	3,163,201

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年10月20日)	当第3四半期会計期間 (平成26年7月20日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	479,885	479,885
資本剰余金	306,201	306,201
利益剰余金	1,142,098	1,265,330
自己株式	△110,487	△110,509
株主資本合計	1,817,698	1,940,906
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	19,648	22,296
評価・換算差額等合計	19,648	22,296
純資産合計	1,837,346	1,963,203
負債純資産合計	5,224,338	5,126,404

(2) 四半期損益計算書
第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成24年10月21日 至平成25年7月20日)	当第3四半期累計期間 (自平成25年10月21日 至平成26年7月20日)
売上高	1,533,947	1,901,896
売上原価	1,078,342	1,251,483
売上総利益	455,604	650,412
販売費及び一般管理費	357,363	368,946
営業利益	98,241	281,466
営業外収益		
受取利息	6	6
受取配当金	1,674	3,004
業務受託手数料	13,277	13,302
その他	6,248	5,361
営業外収益合計	21,206	21,675
営業外費用		
支払利息	34,057	33,509
社債利息	2,435	2,341
その他	17,087	13,107
営業外費用合計	53,581	48,957
経常利益	65,866	254,183
税引前四半期純利益	65,866	254,183
法人税、住民税及び事業税	17,522	94,056
法人税等調整額	15,548	8,892
法人税等合計	33,070	102,949
四半期純利益	32,795	151,234

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期累計期間(自 平成24年10月21日 至 平成25年7月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		
	建設コンサルタント事業	不動産賃貸等事業	計
売上高			
外部顧客への売上高	1,409,346	124,600	1,533,947
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	1,409,346	124,600	1,533,947
セグメント利益	427,000	28,604	455,604

(注) セグメント利益は、四半期損益計算書の売上総利益と一致しております。

II 当第3四半期累計期間(自 平成25年10月21日 至 平成26年7月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		
	建設コンサルタント事業	不動産賃貸等事業	計
売上高			
外部顧客への売上高	1,774,031	127,864	1,901,896
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	1,774,031	127,864	1,901,896
セグメント利益	617,505	32,906	650,412

(注) セグメント利益は、四半期損益計算書の売上総利益と一致しております。